



平成27年 2月25日

学校だより 第12号
苫小牧市立苫小牧東小学校

太陽の子

ホームページURL <<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/tomahigashi-es/index.html>>

東小の教育目標

東小の子は太陽の子

- 進んで学ぶ かがやく子
- 思いやりある あたたかい子
- 心身ともに健康な 明るい子

「当たり前」のことが「当たり前」にできる子どもに

校長 寺田 洋子

弥生3月も近づき、校舎周辺の雪も解け始めました。



本格的な春の訪れを前に、学校では各学級や児童会で「6年生を送る会」の準備をはじめ、給食交流会、縄跳び集会など1年間の学びのまとめや楽しい思い出作りが進められております。

「卒業記念制作」に取り組みながら、この6年間で振り返ると共に、中学校という新しい環境への期待で、胸を膨らませている6年生の姿からは、「成長」を感じ取ることができます。

在校生も、しっかりと1年間で振り返り、新しい学年への目標などを考える絶好の時期です。進級への期待を胸に、今までの反省をふまえ、「当たり前」のことが「当たり前」にできる子どもになったか」について反省し、がんばってほしいと考えます。

ご家庭においても、特に3つのことについてお力を入れていただき、安心した進学・進級のご準備をお願いいたします。

一つは、「早寝、早起き、朝ご飯を習慣化して生活のリズムを作っておく。」ということです。決められた流れにしっかり適応できる心身があってこそ、子どもは力を発揮し、楽しい学校生活を送ることができます。二つ目は、「元気のいい挨拶と返事ができる。」ことです。挨拶と返事はコミュニケーションの基礎とも言われ、豊かな友だち関係を築くことができます。

三つ目は、「人の話を聴くことができる。」ということです。「聴」という字は、「耳」+「目」+「心」から成り立っています。「聴く力」は「話す力」にもつながっています。

「子育ては親育て」ともいわれます。各学年からの進級に向け、原点に戻り、子育ての中から共に成長する気持ちをもって春に向かいましょう



【1年生とひだまり学級の豆まき集会：たくさんの福がきますよう】

ちょっと新鮮

6年生が校長室を訪れ校長先生と一緒に給食を食べる「お別れランチ」を開催しました。

一日に8名ほどの6年生が、順々に校長室を訪れます。はじめはちょっと緊張気味ですが、しだいに将来の夢や中学校での部活の話や学級のことを話すことでなごみ、6年生の素顔に触れ、楽しいひとときを過ごすことができました。

将来の夢は、警察官・漫画家・プロアイスホッケー選手・サッカー選手・医者・保育士・消防士等、社会の一員として責任を果たそうとしている姿に逞しさを感じます。

小学校での楽しい思い出をいっぱい持って進学し、大きくステップしてほしいと心から願っております。

校長室で
お別れランチ

